| 学校番号 | 320 |
|---|---|

# 令和８年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 公共 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　公共　（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会に生きていることを感じる。
・社会的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・現代の世界の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としてのありかた生き方について考える力の基礎を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。<br>また、諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 | 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 公共の扉 | 第1章　公共的な空間をつくる私たち | a: 一人ひとりが尊厳をもつかけがえのない存在であり、互いに同じ人間として平等であることを理解できる。資料を読み取り、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解できる。<br>b: 多様な価値観や考え方から、共通するあり方・生き方について考察し、表現できる。集団や社会は、様々な背景や特色をもつ多様な存在であることに着目し、異文化共生には、どのようなことが必要とされているか、多面的・多角的に考察し、表現できる。<br>c: 自らの価値観を形成するとともに他者の価値観の尊重を視野に、異文化共生についての課題を主体的に追求しようとしている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>提出ノート | 提出ノート<br><br>振り返りレポート |
| | | 第2章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方 | a: 個人が選択・判断するための手がかりとして、「行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方」や「行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方」などについて理解できる。<br>b:「行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方」と「行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方」の違いについて説明できる。<br>c: 「行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方」と「行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方」を現代の諸課題に活用して考えている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>提出ノート | 提出ノート<br><br>振り返りレポート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第3章　公共的な空間における基本的原理 | a:古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。また、人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解する。<br>b:すべての人を尊厳ある主体として平等に処遇することと、各人の個性を尊重することとがどのように関係するのかについて、考察し、表現できる。また、人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理について、考察し、表現できる。<br>c:自己のあり方生き方と民主主義がどのように関係しているかについて、主体的に追究しようとしている。また、18歳になれば、有権者として国政に直接影響を与えることになるという自覚をもって学習に取り組んでいる。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>提出ノート | 提出ノート<br><br>振り返りレポート |
| | 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち | 第1章　法的な主体となる私たち | a:　安全で豊かに生き、法をよりよいものにするための権利や、それを実現するための法・規範を理解する。また、消費者と事業者を対等な立場に置き、消費者主権を実現するために、消費者に関する法律が定められていることを理解する。<br>b:人権規定をどのように使うことで、社会的課題を解決できるかを考察できる。また、消費者トラブルを防ぐためにはどのようなことに注意して消費活動をおこなう必要があるか、考察できる。<br>c:日本国憲法の人権保障規定を深く理解しようとしている。また、社会の一員として、自立した消費者の行動はどうあるべきかについて、主体的に考察しようとしている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>提出ノート | 提出ノート<br><br>振り返りレポート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち | 第2章　政治的な主体となる私たち | a：選挙の意義や課題、世論の形成や政党の役割を理解する。また、今日の国際社会の特徴や、その中で必要な日本の役割について理解する。<br>b：選挙や多数決では反映されない多様な民意の存在を尊重し、これからの日本に求められる政策を考察し、表現できる。また、国際平和と日本の平和を実現していくために果たすべき日本の役割や政策について考察し、表現できる。<br>c：民主政治において主権者である国民が積極的に政治に参加することが重要であることを理解し、日本や世界の課題を解決する政策について考察し、提案できる。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>提出ノート | 提出ノート<br><br>振り返りレポート |
| | | 第3章　経済的な主体となる私たち | a：高校生の将来の自己実現に必要な雇用や労働問題、社会の変化と職業選択についての知識を理解できる。<br>b：公正で自由な経済活動のために必要なものを考察できる。<br>c：経済的な主体として、また効率的で公正な経済政策を選択できる主権者として、経済的な見方・考え方を働かせている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>提出ノート | 提出ノート<br><br>振り返りレポート |
| 3学期 | 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私 | 第3章　経済的な主体となる私たち | a：資本主義における市場経済の機能とその限界を見極め、景気の安定や経済成長における政府や金融、財政の役割を理解できる。<br>b：少子高齢化の中での社会保障や経済政策、通商政策のあり方について、経済的な見方・考え方を働かせて、経済的な主体として効率的で公正な経済政策を考察できる。<br>c：経済的な主体として、また効率的で公正な経済政策を選択できる主権者として、経済的な見方・考え方を働かせている。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>提出ノート | 提出ノート<br><br>振り返りレポート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 持続可能な社会づくりの主体となる私たち | 地球環境問題 | a: 地球温暖化の進行とその影響について、様々な面から具体的に理解できる。<br>b: 温室効果ガスの排出を抑えるための有効な手法としての排出権取引の仕組みについて理解できる。また、経済発展による幸福の増加分と環境破壊による幸福の減少分を比較し、問題を解決する方法について考え、発表できる。<br>c: SDG s と地球温暖化の関わりなど、現在の国際社会の取り組みについて調べ考察できる。また、排出権取引に関して今後の国際社会が取り組むべき課題について、主体的に調べ考察できる。 | 観察<br><br>ワークシート | ワークシート | 振り返りレポート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度